

B ヤマラッキョウ



しめ 湿った草地や湿地・畦に生え、長さ30cm程の細長い葉をつける草です。花をつける茎は高さ50cm程で、9～11月に3～5cmのピンク色の花をつけます。

B ノシラン



海に近い林の地面に生えます。厚く、細長い葉をつけます。7～9月に下向きに開く白い花をたくさんつけ、冬には果実が美しいこい青色に色づきます。

B ヤブミョウガ



林の中に生え、花をつけると高さ50～100cmになります。8～9月に白い花をつけ、1日でしぼみます。果実は秋に熟すと青紫色になります。

B チョウセンガリヤス



かわ 乾いた岩場などに生えます。高さ30～60cm、葉は長さ3～8cm、幅3～6mmで、8～10月に目立たない花をつけます。

B ヌマカゼクサ



しつ 湿地やため池の畔に生えます。高さ30～50cm、細長い葉は幅2～6mmで縁はざらつきません。8月～11月に目立たない花をつけます。

B ナルコビエ



かわら 河原や農耕地の周辺などに生えます。高さ40～70cmで、全体に毛が生えています。8～10月に茎の上のほうに果実をつけます。

B ウキシバ



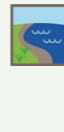
ため池や沼に生えます。茎は1mをこえることがあります。茎は水面に浮く場合と立ち上がる場合があります。8月に茎の先にイネに似た花をつけます。

B クロカズスゲ



あぜ 水田の畦や農耕地周辺、地面が砂の湿地に生えます。高さ10～30cmで葉は幅2～3mm。5～6月に茎の上のほうにかたまって茶色い花をつけます。

B コウボウムギ



海岸の砂地に生える高さ10～20cmの草です。雄株と雌株に分かれて生え、4～5月に花びらのない花が集まって咲き、その後茶色い果実となります。

B ミカツキグサ



山の湿原や湿地に生える高さ10～50cmの草です。葉は幅0.5～1mmで細く、茎より短いです。7～10月に白色の花をつけます。

B フトイ



池や湿地に生える、高さ1mをこえる大型の植物です。地面の下の茎で広がり、そこから茎を伸ばし先端に茶色の花をつけます。生け花にも使われます。

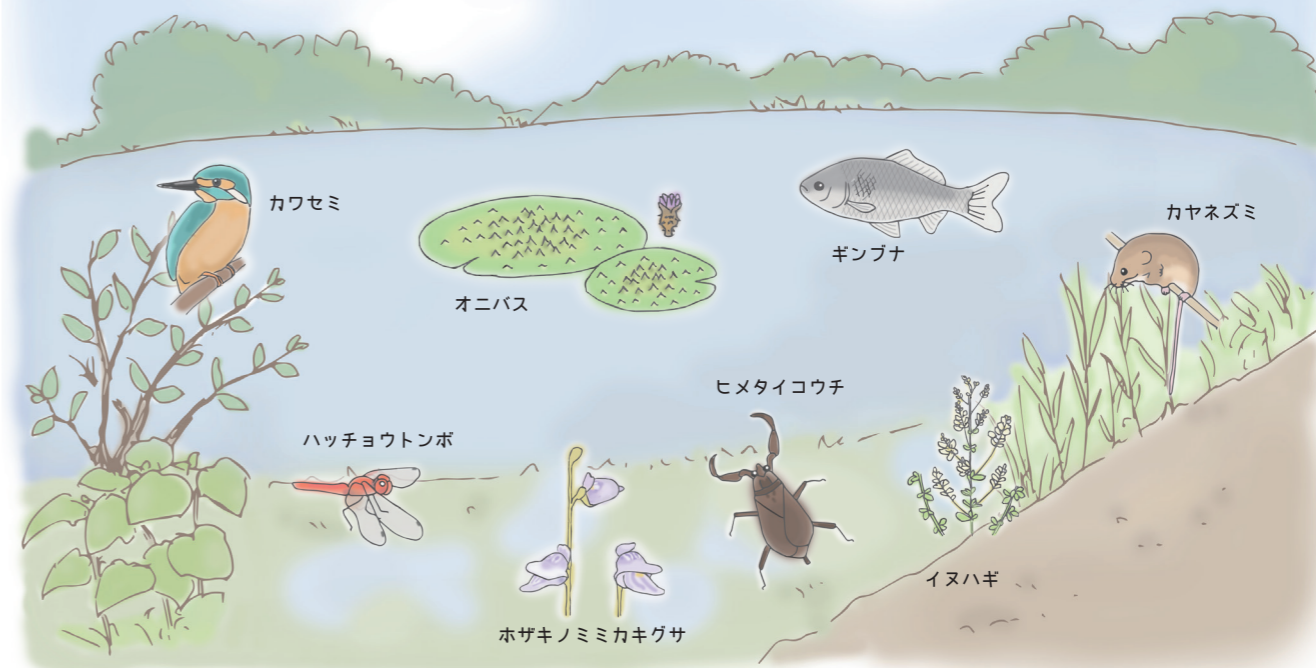
B ノグサ



日当たりのよい湿地に生えます。茎や葉は細くまとまって、束になって出ます。6～8月に、高さ20～40cmの茎の先に目立たない花をつけます。

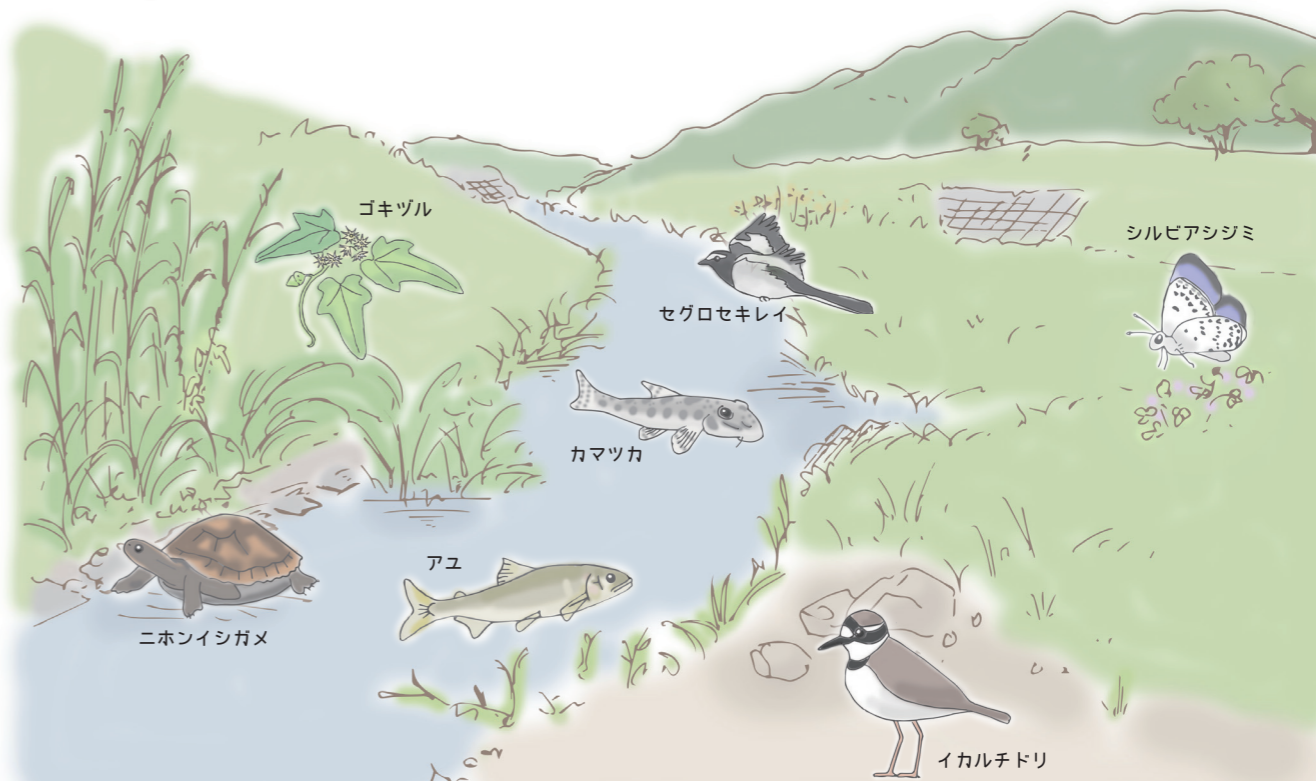
ため池

昔から水不足に悩まされてきた明石市には、数多くのため池があります。ため池や湿地には、流れのない水の中で生活する昆虫や魚、これをエサに集まる鳥、水草や水辺に生える植物など、たくさんの生きものがくらしています。中には絶滅が心配されるオニバスなどの希少な生きものも見られます。



が せん 河川

明石川をはじめとして、朝霧川、谷八木川、赤根川、瀬戸川などの河川が明石市を流れ、瀬戸内海へ注ぎます。水の中にはカマツカなどの魚、石の多い河原にはイカルチドリなどの鳥や虫、河川敷には草地の植物など、川は多くの生きものすみかであるとともに、生きものが他の場所へ移動するときの通り道としても大切な役割を果たしています。



海岸

海に面した明石市は、東の大蔵海岸から西の魚住海岸まで、16kmの長い海岸線を持ちます。海岸の多くは人の手で整備された人工海浜ですが、整備されてから年月が経ち、今ではいろいろな生きものを見ることができます。特に明石川より西では砂浜が多く、いろいろな海浜植物が生育しています。



公園

明石市には、明石公園と金ヶ崎公園という大きな公園があります。どちらの公園にも広い林や池があり、市街地が広がる明石市の中で、生きものすみかとして大切な場所になっています。この他にも、街の中の公園やお寺、神社の森には、意外といろいろな生きものがすんでいます。



B シロネ



河川やため池の湿地に生えます。高さ80～120cmで、茎の断面は四角で、8～10月に白い花を葉のつけねにつけます。地下の茎が白いことが名の由来です。

B イヌノフグリ



道ばたの石垣のすきま、畑の畦道、草地などに生えます。3～4月にオオイヌノフグリに似た3～4mmの小さなピンク色やうす紫色の花をつけます。

B オギノツメ



湿地や用水路わきに生えます。高さ30～70cm、茎は四角で、8～11月に葉のつけねにうす紫色の1～1.3cmの花を数個つけます。

B ホザキノミミカキグサ



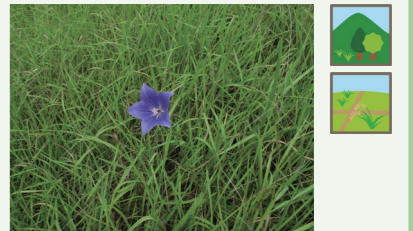
日当たりのよい栄養分の少ない湿地に生える高さ5～20cmの食虫植物です。6～9月に茎の先にうす紫色の4～5mmの花を数個つけます。

B オミナエシ



日当たりのよい草地に生えます。高さ60～100cmで、8～10月、茎の上の方が枝分かれてその先に小さな黄色の花をつけます。秋の七草のひとつです。

B キキョウ



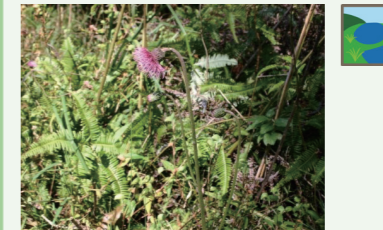
日当たりのよい草地に生えます。高さ40～100cmで、夏に茎の先に青紫色の花を数個つけます。楕円形の果実をつけます。秋の七草のひとつです。

B サワシロギク



日当たりのよい湿地やため池の畔などに生えます。高さ50～80cmで、8～10月に茎の先に白、のちに紅色となる花をつけます。

B キセルアザミ



湿地に生えます。花をつける茎は高さ50～100cmで、9～10月に先に紫色の花を横向きにつけ、咲き終わると花は上向きになり、毛がついた種を飛ばします。

B スイラン



水辺または湿地に生えます。茎は細く、よく枝分かれます。花をつける茎は高さ50～100cmで、9～10月に先に3cmほどの黄色の花をつけます。キクの間です。

B ウリカワ



水田や湿地に生えます。葉は長さ4～18cm、幅3～10mm、花をつける茎は高さ5～20cmで、7～9月に白色の雄花と雌花を別につけます。

B ヒルムシロ



ため池、水田、河川などに生える水草です。水中の葉は細長く、水面の葉は楕円形になり、6～10月に水の上に棒のような形の黄緑色の花をつけます。

B ホツスモ



ため池、用水路などの水中に生える水草です。茎はよく枝分かれし、葉は細長く、1～2.5cmほどです。9～11月に葉のつけねに小さな花をつけます。